

わが家の耐震大丈夫？

市の制度を活用して /

耐震化で安心

沼田市には、昭和56年以前に建築し、耐震性のない住宅が約5,500戸*あり、住まいや大切な命を守るために耐震化を進める必要があります。

市の制度を使って自宅の一部を耐震化した宇居邦明さんにお話を伺いました。

※第三期沼田市耐震改修促進計画より

何も心配なく
安心して暮らしています



宇居邦明さん - 桜町 -

「耐震化したことで、安心して暮らしています。近年災害が増えてきているので、不安の中で過ごすのは嫌ですね」と、語る宇居さんは、昨年、市の

制度を利用して、築60年を迎える住宅の耐震診断と耐震改修工事を行いました。

住宅は、宇居さんが10歳のときに両親が建てました。宇居さんは高校卒業後、市外で就職し、静岡県富士宮市にて妻と子ども4人と共に暮らしていました。築年数が経った住宅に1人で暮らす母が気が掛かりでした。

数年前、広報ぬまたで制度を知り、派遣された耐震診断者に診断してもらおうと、耐震化が必要と分かりました。悲しいことに間もなく母が亡くなり、取り壊しを考えましたが、子どもの頃の思い出が詰

まった住宅を取り壊すことを寂しく感じ、耐震化をして、妻と移住しようと思いましたが、

制度利用について市に相談した後、耐震診断者に半日以上かけて診断してもらい、多種多様な工事の中から、耐震年数と費用の折り合いのつく工事に決めました。工事は1週間ほどで、富士宮市と沼田市とを行き来し、立ち会いしました。施工場所の家具や荷物を移動する事前準備が一番大変でした。

補助率の高い制度を利用しない手はない！

宇居さんが長らく住んでいた富士宮市は、富士山の麓という土地柄、全戸避難訓練を年に2回行うなど自然災害に対する意識が非常に高かったといえます。「沼田市は災害が少ないけれど、制度と相談体制が整っているので利用しない手はないと思います」と強調し、「例えばリフォームをするときに耐震化も検討してみてもいい。補助率が高いところも良い。市がおよそ64万円負担したので、私の負担はおよそ16万円で済みました」と笑顔を見せました。

工事ってどんな感じ？
宇居さんの住宅は台所と2部屋を耐震改修しました



住まいや大切な命を守ろう

詳細・申請書ダウンロード



無料で診断！

沼田市木造住宅耐震診断者派遣制度

一定条件の木造住宅に耐震診断者を無料で派遣します。ただし、耐震診断者の交通費相当額は個人負担です。

募集数2戸 必ず着工前に相談してください

木造住宅耐震改修工事補助金

地震の倒壊被害を軽減します。

補助率：4/5(最大100万円)

個人負担	市負担
25万円	100万円
↓	
工事費125万円の場合	

募集数1戸 必ず着工前に相談してください

耐震シェルター等設置工事補助金

高齢者のみ居住する住宅、障がい者が同居する住宅の一部を補強します。

補助率：1/2(最大30万円)

個人負担	市負担
30万円	30万円
↓	
工事費60万円の場合	

問合せ 建築住宅課建築指導係 ☎内線 4112